

無差別・平等の医療と福祉
の実現をめざしています



船橋二和病院ホームページアドレス
<https://www.futawa-hp.jp>



船 橋 二 和 病 院
船橋二和病院健康友の会
〒274-0805
千葉県船橋市二和東5-1-1
TEL 047(448)7111(病院)
TEL 047(449)4417(健康友の会)
発行責任者 宮 野 暁
月一回発行 1部 50円

写真で見る 二和健康まつり 2024

青空のもと2000人が多彩な企画に集う!!



オープニング・さくら太鼓



佐渡おけさ



講演する宮原院長

10月20日(日)に開催した第36回船橋二和病院健康まつりは、さわやかな秋晴れに恵まれ、参加者の笑顔があふれた1日となりました。

メインステージ
さくら太鼓による演奏で始まり、佐渡おけさ、民謡コーラス、ピアノ演奏などで聴衆を魅了し、なかでも三咲小学校吹奏楽部、御滝中学校管弦楽部の演奏は大盛況で、たくさんの方が聴き入っていました。宮原院長による「医療現場よりコロナ現状、带状疱疹のこと」の講演は、関心の高い内容で熱心に耳を傾ける姿が目立ちました。

「体力チェック・健康チェック」や、ふれあいクリニックによる「骨密度測定」をはじめ、ロコモチェック、ハンドマッサージ、腎臓病教室、長谷川式認知症スクール体験など各職場の企画に多くの方が訪れていました。また、野口歯科医院の協力を得た歯科相談、消防隊員による心肺蘇生やAED体験、市内の鍼灸師によるはり・きゅう体験など、外部の方々との協力を得た企画も好評で、貴重な場となりました。

「健康まつりならではの展示コーナーや販売コーナー」医局をはじめとした各職場やすこやか薬局などの医療展示、核兵器廃絶を願う平和パネル、恒例の友の会バザーや友の会紹介パネル、千葉土建鎌ヶ谷支部による包丁研ぎ、能登被災者支援のチャリティーバザーなどの販売コーナー、子どもたちも楽しめる似顔絵やメダカすくい、ダーツ(二和ことばの会などのコーナー)もありました。

近隣住民のみならずご理解を得て、全体で45を超える出し物や企画を無事終えることができました。ご協力いただいたすべてのみなさまに、この場をお借りして感謝申し上げます。

第36回船橋二和病院健康まつり実行委員会
事務局長 立石 諭



心肺蘇生法体験



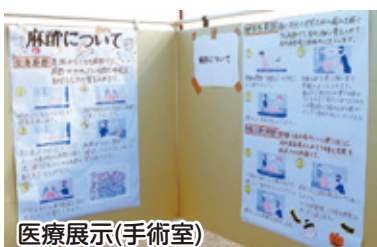
御滝中学校管弦楽部



三咲小学校吹奏楽部



AED操作体験



医療展示(手術室)



健康チェックに初登場した足指力計

列が絶えなかった体力・健康チェック



多くの人が詰めかけた友の会バザー



家族みんなでロコモチェック



演奏を聴く参加者

10月・11月は友の会強化月間！ 仲間を増やし、安心して住み続けられるまちづくりを進めよう！！

「強化月間」初月、旺盛な健康づくり活動を展開 10月

地区名	開催日	企画内容	参加人数
松が丘地区	10月4日	インターバル速歩	8人
鎌ヶ谷東地区	//	健康講座「元気に年を重ねていくために」	17人
保健委員会	10月8日	学習交流会「介護保険についてもっと知ろう！」	23人
白井地区	10月12日	健康講座「加齢性難聴と補聴器について」	47人
丸山地区	10月13日	ウォーキング「北総花の丘公園」	20人
鎌ヶ谷西地区	10月16日	「お食事会」	8人
八木が谷地区	//	歴史と自然にふれる秋「里見公園」	8人
八千代地区	10月18日	『いつでも元気』読者会	7人
西高芝地区	//	健康講座「年を重ねても楽しく元気でいたい」	15人
病院	10月20日	二和病院健康まつり	2000人
大穴・三咲地区	10月22日	ピエロさん作り	14人
病院	//	オレンジカフェ	13人
法典地区	//	ペン字教室	25人
御滝地区	//	書道を楽しむ会	3人
八木が谷地区	10月23日	『いつでも元気』読者会	10人
習志野台地区	10月24日	健康講座「フレイルについてお話しよう」	21人
高根台地区	10月29日	「木戸川周辺散策」	6人
西高芝地区	10月31日	健康講座「認知症予防と対応」 ①	26人
法典地区	//	向島百花園&東京スカイツリー ②	31人
白井地区	//	健康チェック「骨密度測定と運動機能チェック、健康相談」	45人



病院前救護所とは
震度6以上規模の災害が発生した場合に病院前に設置され、軽症の方はそこで応急処置が行われます。一方で重症の方は病院の施設内で治療を受けます。災害直後に多数の患者さんが来

11/2(土)に、災害訓練の一環として船橋二和病院にて病院前救護所訓練を行いました。

外部の方々と協力して訓練
当日の訓練は、市内の病院のスタッフの他に、地域医師会、歯科医師会、薬剤師会、柔道整復師会、災害ボランティア、市職員の方々と協力して運営されました。友の会からも模擬患者役で参加していただき、全体で135人の参加でした。



怪我人などの役を演じている。訓練では模擬患者の方に転院搬送の手配など一通りの訓練を行いました。市内の多数の医療機関のスタッフや市職員も参加され、皆様の真剣な取り組みにより非常に有意義な訓練を実施することができました。地域の皆様と共に訓練を行うことで、災害時における連携の重要性を改めて感じることができました。

病院前救護所訓練に参加して

搬送担当として、特に印象に残ったのは黒エリア(死亡された方)の搬送で、医師による診断が必要なのに医師が不在で、医師が到着するまで15分位かかるなど実際ありえそうな事が起こったことです。緊急時のコミュニケーションの難しさがありました。

遠藤勝志

大規模地震災害に備え病院前救護所訓練を実施

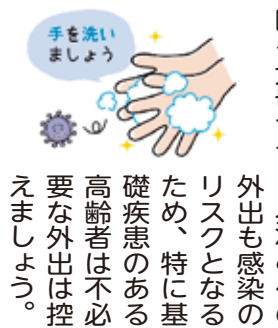
インフルエンザとは
インフルエンザは、インフルエンザウイルスによる呼吸器感染症で12月頃に流行が始まり、翌年の1月から3月頃に患者数が増加します。インフルエンザウイルスはA・B・C・D型があり、そのうちA・B・C型がヒトに感染します。感染経路として飛沫感染と接触感染があげられます。症状は発熱、咳、鼻水、咽頭痛、

インフルエンザの予防方法
インフルエンザワクチンは、感染後の発症リスクの低下や発症後の重症化防止に有効です。

生活で気を付けるポイント
まずは手洗い、マスク着用、アルコール手指消毒など

日頃からの備え
災害はいつ、どこで発生するか分かりません。そのため、日頃から備え、いざという時にスムーズに行動できる体制を整えることが不可欠です。この訓練で得た知識と経験を、今後の防災活動に生かしていきたいと思っています。今後とも協力よろしくお願いします。

高年齢者福祉施設に入所している65歳以上の高齢者で34%の発症を阻止し、82%の死亡を阻止する効果があったとされています。また65歳以上および基礎疾患を有する60歳以上に対する定期接種では1回接種と2回接種でその効果に大きな差はないとする報告もあります。



インフルエンザについて

高年齢者福祉施設に入所している65歳以上の高齢者で34%の発症を阻止し、82%の死亡を阻止する効果があったとされています。また65歳以上および基礎疾患を有する60歳以上に対する定期接種では1回接種と2回接種でその効果に大きな差はないとする報告もあります。

入を徹底してウイルスの侵入を防ぎましょう。また空気の乾燥は気道粘膜の防御機能が低下するため、加湿器などを使って適切な湿度(50~60%)を保つことも効果的です。体力が低下している時にウイルスに感染しやすいので栄養バランスの取れた食事、十分な睡眠も大切です。人混みへの外出も感染のリスクとなるため、特に基礎疾患のある高齢者は不必要な外出は控えましょう。